

1 目指すべき姿 (将来像)

本市は、住宅都市としての特性を大切にしつつ、地域産業の潜在力を活かしながら、以下に掲げる「目指すべき姿 (将来像)」の実現に向け、産業振興に向けた取組みを推進します。

豊かな暮らしと産業の持続的な発展を支える活力のあるまち あげお

2 基本方針

上記の「目指すべき姿 (将来像)」を実現するため、本市における産業振興の基本方針について、以下の3点を定め、これに沿った産業振興施策を推進します。

1 | 豊かな市民生活を支える産業振興

「令和5年度 上尾市市民意識調査」によれば、本市を「住みよい」とする市民は69.8%と過去最高に達しており、市民の暮らしの豊かさを裏付けています。豊かな生活を守り、さらに向上させるうえで、生活と産業のつながりは非常に重要です。そのため、市民がいきいきと働くことができる環境の整備、多様な商業の発展などを通じた日常的な生活サービスの充実、そして、農産物をはじめとする地産地消の推進といった取組みの重要性は非常に高いと考えられます。

2 | 新たな分野へのチャレンジと持続的な発展を支える産業基盤の整備

産業基盤の整備は、前ビジョンにおいても産業全体を支えるために不可欠な施策となっています。本ビジョンにおいても、①新しい分野に対して意欲的に取り組む動きを手厚く支援し育てること、②これまで本市の経済を支えてきた企業の持続的な発展をサポートすること、という両方の目的を念頭に置き施策を展開していきます。特に、企業の活動規模の拡大に向けた企業立地や上尾中小企業サポートセンターを中心とした稼ぐ力の向上に向けた各種事業者支援、農地の有効活用に向けた取組みがポイントになります。

3 | 地域資源を活用した魅力とにぎわいの創出

第6次上尾市総合計画（後期基本計画）では、「活力にあふれたにぎわいあるまちづくり」が基本的な方向性として掲げられていますが、それを実現するためには地域資源の活用は欠かせません。本市の地域資源は、ブランドを確立している果実やグルメにとどまらず、交通の利便性の良さなどの地理的特性、自然、歴史・文化、そしてその中で育まれた企業、さらには地元を愛する市民の皆様も含まれます。こうした地域資源を一層充実させ、事業者間交流や各種イベントの展開、上尾ブランドの開発・推進などの取組みを通じて「にぎわいづくり」につなげていくことが強く求められます。